～地域の子どもは地域で守る～

平成28年10月17日発行

朝霧小学校区「スクールガード通信」

スクールガード朝霧小学校区

『これからも朝霧校区の子ども見守り活動を地域全体で続けていきましょう』

スクールガード　朝霧小学校区　　代表　　打越　義昭

平成１７年秋に発足しました「子ども見守り活動」も今年で１２年目を迎えました。現在８０名の方が登録され、うち約５５名の方が登下校時に子どもたちを見守っていただいています。

多くの方から「朝霧小はよくやっている」「皆さんにはお世話になります」といった称賛のお言葉をいただいていますが、しかしこの体制をあと何年続けていけるか分かりません。最高齢８９歳の方２名を含め７０歳代の方を中心に活動を続けていますが年々、齢を重ねます。

将来を見据え、地域で子どもを守り育てていくためには、今ここで手を打たねばならない時期が来たと思います。たまたま朝霧小学校区では大きな事故、事件は起こっていません。しかし、いつ、どこで何が起こるかわからない世の中です。

子どもはいつの時代でも宝物です。地域をあげて子どもを守り育てていく責任があります。地域が見て見ぬふりをしたり、自分にかかわりがないからほっておいたらよいと決め込んだら殺伐とした校区になるでしょう。それは何としても避けなければなりません。

現在の子どもたちが４０年、５０年先になって「近所の子どもを見守ってやろうか」という気持ちになってもらえるまで「子どもを見守り育てる体制」を継続していきたいと考えています。よろしくご協力をお願いします。

『いつまでも続けてほしい 子ども見守り活動』　　朝霧小学校　教頭　大江　俊朗

私たちが小学生だった頃には、スクールガードという制度はありませんでしたが、登下校時には、近所のおじさん、おばさんたちが、いつも道端に立って見守ってくれていました。夏休みも、毎日虫捕りをしたり海辺で遊んだりしていましたが、必ず近くには大人の目があり、危ないことをしていると叱られたものです。それらは今でもはっきり思い出すことができ、良き思い出となっています。

幸いなことに、朝霧校区にはたくさんのスクールガードさんがおられます。毎日の活動は、本当にありがたいと思っています。登下校時のつながりだけでなく、１学期には、ふれあい給食にも来ていただき、子ども達との交流をより深めることもできました。このような体験は、子ども達の心に、良い思い出となって残ることでしょう。

多くのスクールガードの方々は、何年も活動を続けていただいています。長く携わっていただいたことで、子ども達とのつながりはより深くなってきています。しかし、ほとんどの方がご高齢であることが気がかりです。お体の面では負担になっているのではないかと心配もしています。最高齢は 89 歳の方と聞いています。杖をつきながら子ども達のために立っていただいている姿には頭が下がります。実際にお体の調子が悪く、立たれるのをおやめになった方もおられます。学校では、輪番で月に一度の登校指導と、毎週金曜日に下校指導を行い、職員も見守りをしています。

地域の皆様の中に、子ども達を見守っていただける方々がおられましたら、週に一回、月に一回でも結構ですので、ご一緒に子ども達を見守っていただけないでしょうか。子ども達の安全が確保され、子ども達が多くの方とつながる機会が増えることを願っています。

『これからの子ども見守り活動を考える』　　朝霧小学校　ＰＴＡ会長　池田　佳世子

スクールガードの皆様、いつも子どもたちを見守ってくださり、ありがとうございます。
スクールガード活動が始まり、今年で 12 年目を迎えると聞きました。現在 70 歳代の方々を中心に活動されているという現状があります。80 歳代の方々も多く活動していただいております。
私たち保護者も自分たちでできることを真剣に考えていかなければならない時期にきていると思います。
PTA でも保護者の皆様の意見を取り入れながら少しずつでも前進していきたいと考えております。

朝霧校区の子どもを見守る活動に参加されませんか

「おじちゃん、おばちゃん、毎日私たちを見守ってくれてありがとう」と声をかけられるとほんわかとした気持ちになります。子どもの見守り活動をしていて「よかったなあ」と感じるひと時です。

現在約５５名の方が登校時、下校時に家の近くで立って子どもを見守ってくれています。毎日でなくとも、ご都合のいい時だけで結構です。あなたも子どもとの会話を楽しんでみませんか？

「やってみよう」と思われる方はお近くのスクールガードの方に声をかけられるか、*朝霧小学校（９１８－５４４５）*もしくは*打越（９１３－０５５２）*までご連絡ください。

おれんじキャップは信頼のシンボル。おれんじキャップを見て「スクールガードさんこんにちは!」

お家や学校のまわりを歩いて（パトロール）みませんか?

子どもたちが家に向けて帰ったあと、正門を離れ、今度は通学路をおしゃべりしながら、今日は西に、昨日は南にと足を運ばせているスクールガードさんがおられます。この方々は子どもたちの下校時、家までの安全確認と万が一不審者がいないかという目でまちを見ていただいています。

校区で５０余名の方が**パトロールボランティア**に登録されています。スクールガード活動をされていなくても、おれんじキャップを着帽されパトロールに従事されています。

パトロールされているスクールガードの方は「疲れていても、地域の方ともお話が出来ますし、また子どもにも声をかけられ励まされます。少しでも地域の犯罪予防になればと思います。」と飽きることなく、パトロールを続けられておられます。

裏面へ

スクールガード研修会を開催しました。

８月２９日（月）市立勤労福祉会館にて「スクールガードあかし」研修会を開催しました。明石警察署交通第一課の岡田氏・野村氏による講演では、最近の交通事故の傾向や見守り活動をする際に注意することなど、子どもやスクールガードが交通事故に遭わないよう映像を交えてわかりやすく説明していただきました。

明石警察署による講演

スクールガードリーダーによる講話では、活動にあたっての留意事項や不審者への対応についてアドバイスがありました。当日は時折激しい雨が降る中 129 名に参加していただき、充実した研修会になりました。

スクールガードリーダーによる講話

～スクールガード研修会から～

横断歩道での注意事項

- 車両が完全に停止してから子どもたちを横断させること。
- 通過する車両に背を向けず、自分自身の安全を確保すること。
- 子どもたちとのコミュニケーションは余裕のある時にすること。
- 子どもを急かさない。急かすような状況であれば待たせること。

スクールガードリーダーの講話より～子どもが助けを求めてきたら～

- 「まず安全な場所に保護する」…道路上ではなく、こども１１０番の家や歩道上など安全な場所に子どもを保護しましょう。
- 「子どもを落ち着かせる」……「もう大丈夫だよ」やさしく声かけをお願いします。
- 「話を聞く」…「静かな場所で」「子どもと同じ目線で」「子どもの体調に気を配りながら」「わかりやすく、ゆっくりと」話を聞いてください。
- 「１１０番・１１９番通報」…「誰かが通報するだろう」ではなく、自分からすばやく通報。誤報を恐れないで。
- 「応援を求める」…一人での対応が難しい場合は、周囲の方々に応援を求めましょう。

「スクールガードあかし」が表彰されます

スクールガードの皆様有難うございます

平成 18 年度までに、市内 28 小学校に「校区スクールガード」が設置され、登下校時間帯における通学路上の見守り活動、あいさつ運動、校内の巡回などを約 10 年間にわたり継続して実施していただいていることが評価され、平成 28 年度「あかし安全・安心市民大会」において、「スクールガードあかし」が表彰されることとなりました。これまでの活動に感謝するとともに、これからも子どもたちの安全を守る活動にご協力いただきますようお願いします。

「おれんじキャップ」を着用した人がたくさんいることが、犯罪の大きな抑止力になります。今後とも子どもの見守り活動にご協力くださいますようお願いします。

また、古くなって色あせた「おれんじキャップ」は新しいものと交換しますので、各小学校までお申し出ください。

明石市教育委員会事務局　青少年教育課　子ども安全係　☎078-918-5057